

一

【資料を読み取る力】

問い一 インタビューの中で にあてはまる文はどれですか。
①～④から一つえらび、下の□に番号を書きましょう。

B	A
①	④
②	①

正答 ※ 正しい番号を書いている。

誤答 ※ 正答以外の内容が書いてある。

無答 ※ 記述がない。

【資料を読み取る力】

問い二 大山図書館の竹田さんは、小さな子どもからお年よりまで、どのようにすごしてほしいと考えていますか。
文の中から見つけて書きましょう。

(小さな子どもからお年よりまで、)
ゆつくりすごしてほしい

と考えている。

③

正答 ※ 右の通り。

誤答 ※ 別の内容が書いてある。

無答 ※ 記述がない。

問い三 森さんのグループは、インタビューしたことをもとに次のように《取材メモ》をまとめました。それをもとに《組み立て表》を作り、大山図書館の「使う人のことを考えたくふう」についてしようかいする文章を書きました。これらを読んで、後の問いに答えましょう。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】

(一) 森さんが、「ア りよう者の数」をしようかいしなかったのはなぜですか。「使う人のことを考えたくふう」という調べる内容から考えて理由をせつめいしましょう。

(りよう者の数は、)

「使う人のことを考えたくふう」という調べる内容には合わない
(から)。

④

正答 ※ 右と同じ趣旨の内容が書かれている。

・ 「使う人のことを考えたくふう」という内容に合わないので、紹介する内容から除外した、ということが分かるように書かれていればよい。

・ 「使う人のことを考えたくふうではないから」等でも許容とする。

※ 別の内容が書いてある。

※ 記述がない。

誤答
無答

【文章を正しく表現する力】

(二) 《森さんが書いたしようかい文》には、表げんを直さなければならぬ文が一つあります。その文をさがし、「」「や」を落とさずに、文全体を [] の中に正しく書き直しましょう。

また、絵本の読み聞かせもしています。

⑤

正答 ※ 右の通りか、または、「くいるのです。」など、文末が敬体になっていれば正答とする。

誤答 ※ 右と違う記述。

※ 文の始め「また」から記述していない。

※ 句読点が抜けている。

無答 ※ 記述がない。

【話のまとまりごとに段落を変えて文章を記述する力】

(三) 森さんが、③「二つ目は、小さな……」のところだん落を分けたのはなぜですか。その理由として正しいものを①～⑤から一つえらんで記号を書きましょう。

①

⑥

正答 ※ 右の通り。

誤答 ※ 右と違う記述。

無答 ※ 記述がない。

二

【内容に応じて資料を分類する力】

問い一 スーパー丸山のあるない図から分かったことを、次のようにまとめ、グループ分けをしました。あ、い、のグループはどのような人のことを考えたくふうでしょうか。あ、い、の [] の中に書きましょう。

あ

体の不自由な人やお年より

のことを考えたくふう

⑦

い

小さな子ども

のことを考えたくふう

⑧

正答 ※ あは、「体の不自由な人」「お年より」「車いすをりようしている人」、でもよい。

いは、「子ども」、「赤ちゃん」でもよい。

誤答 ※ 「ちゆう車場」、「カート」など、物の名前を書いている。

※ スーパー丸山の案内図にない言葉を書いている。

無答 ※ 記述がない。

【話題に沿って必要な事柄を選択する力】

問い二 問い一でグループ分けをしたくふうを、あといから一つずつえらんでしようかいすることにしました。あなたなら何をしようかいしますか。かくのメモからえらんで、記号を次の [] に書きましょう。

あにカ・キから一つ、いにク・ケから一つそれぞれ記述がある。

採点なし

この問題に記述がない場合、問七【話題に沿って必要なメモを選択し、記述する力】⑩は誤答とする。

【資料を読み取る力】

問い三 スーパー丸山のしょうかい文を書くために、下のような《組み立て表》を作りました。

「終わり」には、しょうかい文のまとめが入ります。あなたがえらんだ内容に合うまとめの文を、二ページの《森さんが書いたしょうかい文》のまとめをさん考にして書きましょう。

【正答】

※ 次の三つの条件を満たしている。

- ① 問い五で選んだメモの内容と整合性がある。
- ② まとめの内容が、「始め(紹介すること)」及び「中(紹介した工夫)」と対応している。
- ③ 発表する「使う人のことを考えた工夫」という話題にふれている。

《正答例》

(このように、スーパー丸山は、)

体の不自由な人やお年より、小さな子ども

(のことを考えたくふうがあります。)

⑨

(このように、スーパー丸山は、)

ちゅう車場や子ども広場など、使う人

(のことを考えたくふうがあります。)

⑨

※ 右のように、メモのキとク(カとク、カとケ、キとケ)を組み合わせて、「使う人のことを考えた工夫」につなげていてもよい。

【誤答】

※ 正答の①～③の条件を満たしていない。

《誤答例》

※ 「始め」の繰り返しみの記述。

(このように、スーパー丸山は、)

使う人

(のことを考えたくふうがあります。)

※ 後の文に続かない記述。

(このように、スーパー丸山は、)

ちゅう車場や子ども広場

(のことを考えたくふうがあります。)

【無答】

※ 記述がない。

問い四 問二でえらんだ内容について、問い三の《組み立て表》をもとにしょうかい文を書きましょう。

【時間内に指定された文字数で文章を記述する力】⑩

【正答】

※ 二百二十四字以上、三百二十字以内で書いている。

【誤答】

※ 二百二十四字未満、または三百二十字を超えて書いている。

【無答】

※ 記述がない。

【注意】

二百二十四字以上書かれていない場合は、⑩以降の問題は「無答」とする。三百二十字を超えている場合は、⑩以降の問題も採点の対象とする。

また、常体のみや敬体と常体が混在しているも許容とし、⑩以降の問題も採点の対象とする。ただし、事後指導等で、「文体は伝える相手や目的に応じて常体か敬体にそらえること」について十分指導する。

【話題に沿って必要なメモを選択し、記述する力】⑪

- 【正答】
- ※ 「問い五」で選んだ内容に沿って、文章全体を記述している。
 - ※ 例えば、「リサイクルコーナー」や「サービス」など、必要な情報が記載されている場合、記述するべき二つのメモの内容について記述があり、かつ回答者なりにそれらと関連付けて記述している場合は正答とする。
- 【誤答】
- ※ 「問い五」に記入がない。
 - ※ 「問い五」で選んだ内容と違う内容について記述している。
 - ※ メモの内容が記述されていない。
- 【無答】
- ※ 文字数が二百二十四字未満の場合。

【段落を意識して記述する力】⑫

- 【正答】
- ※ 四段落で記述されており、それぞれの段落で書き出しの一字下げがきている。
 - ※ 「始め」（紹介すること）―「中一」―「中二」（工夫一・二）―「終わり」（まとめ）の四つの内容のまとまりで段落構成ができています。
- 【誤答】
- ※ 四段落構成になっていない場合。
 - ※ 内容のまとまりで段落構成をしていない場合。
 - ※ 書き出しの一字下げがあっても、その後（第二から第四段落）の改行がない場合。
 - ※ 改行があっても、一字下げがされていない場合。
- 【無答】
- ※ 段落が全くない場合
 - ※ 文字数が二百二十四字未満の場合。

【記述例】①キとク

①	スーパー丸山の「使う人のことを考えたくふう」をしようかいたします。
②	一つ目は、体が自由な人のことを考えたくふうです。店の入り口近くに体の自由な人のためのちゅう車場があります。スロープがあり、ベビーカーや車いすをりようしている人など、体の自由な人が入りやすくなっています。
③	二つ目は、小さな子どものことを考えたくふうです。このお店は、子ども広場で小さい子どもが遊べます。また、テレビでアニメを見ることのできる「アニメコーナー」もあります。
④	このように、スーパー丸山は体の自由な人や小さな子どものことを考えたくふうがあります。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	

②カとケ

①	スーパー丸山の「使う人のことを考えたくふう」についてしようかいたします。
②	まず、トイレについてです。スーパー丸山の多目てきトイレは広く、手すりがあります。車いすをりようしている体の不自由な人や、お年よりなどが使いやすいつくりになっています。
③	次に、カートについてです。小さな子ども用のおもちやつきカートがあります。赤ちゃんせん用のカートに、ひざかけもふもがあります。
④	このように、スーパー丸山では、トイレやカートなど、使う人のことを考えたくふうがたくさんあります。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	